

Library Mate



短大図書館「機械貸出」始まる

短期大学図書館は、研究室図書を除く蔵書約7万冊の遡及入力をほぼ終了し、この4月から、かねてより強い要望のあった図書の機械貸出を開始しました。

1994年(平6)、夏の業務用パソコン導入時に、まず図書館業務用ソフト「情報館」を採用。次に学術情報センターのNACSI S-CATおよびNACSI S-I Rに接続(同年10月)し、データベースを構築する体制を整えました。その後、1995年(平7)2～3月には本学学生アルバイト20名の力を借りて全蔵書のバーコード貼付並びに昨年度1年かけて遡及入力作業を行いました。

今回短大図書館で行った遡及入力作業で特筆すべき事は、この作業が1年半という極めて短い期間に、業者等による外注にたよらず、館員と学生アルバイトによる本学内部の人間で達成されたことにあります。これは他の図書館に誇っても良いことの一つと言えるでしょう。

皆さんの中には、これまで、短大図書館を利用したことがないため、今回の機械貸出開始をご存じない方もおられるでしょう。今号ではその短大図書館にスポットを当て、5月中旬に行った館員への「短大の現状」インタビューを質問と回答形式にして、お伝えしたいと思います。以下簡単に短大図書館を紹介します。

1990年(平2)の短大校舎の増・改築に伴い、短大図書館は現在の形になりました。高い天井で採光に工夫がなされており、薄紫のカーペットと白い壁が協調し合って、明るく健康的な雰囲気を出しています。

蔵書は、和・洋図書を合わせて昨年度末現在で約7万冊(研究室図書除く)。購入雑誌は約230タイトルです。ビデオ等の視聴覚資料約1700タイトルは図書館内に設置されているAVブースやAV視聴室で視聴することができます。情報検索用の利用者端末(OPAC)は、今夏末までに計6台となる予定です。

Q 機械貸出を開始して1ヶ月以上たちましたが、学生の反応はどうか

A 学生の反応は極めて好意的だと思います。これまでの貸出票に名前を書くという方法から、機械、コンピュータを用いて貸し出すという方法にガラリと変わりました。自宅の近くの公共図書館を思い浮かべて下さい。貸出は、図書と「利用証」(学生証)のバーコードをリーダーでパソコンに読み込ませ、返却期日を表示した「返却カード」添付するだけで終了です。「変わった、便利になった、早くなった」と単純に感動してくれる学生から、やっとなったんだ、というような学生まで様々な反応を見せてくれています。



貸出には利用証(学生証)が必要

Q 貸出が便利になった分、貸出量は増えましたか?

A 統計の分析を行っていないため、何とも言えませんが、増えたように感じます。短大図書館では機械貸出開始に伴って今年度より、貸出期限は2週間そのままですが、図書の貸出冊数を無制限としました。また、名前や学部・学科・学年を書く必要はなくなりましたので、以前誰が借りたか、というような個人の情報は残りません。これらの改善要因から考えてもやはり増えたと言えるのではないのでしょうか。

Q 大学生や大学院生が短大図書館の図書を借りる場合は?

A 大学生や大学院生の学生証にはバーコード

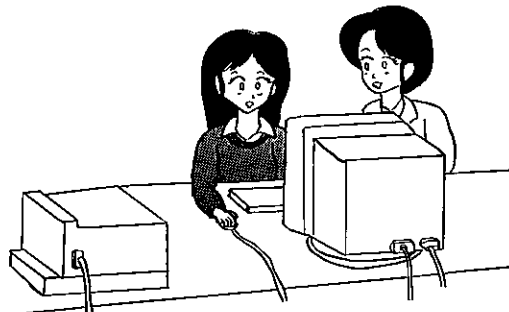
を貼付していませんので登録が必要です。カウンターに申し出ると、登録カードをお渡しします。必要事項を記入していただき、登録後、図書を借りることができます。教職員に関しては、登録の必要はありませんが、カウンターに申し出て下さい。



「登録」「貸出」には時間の余裕をもって

Q OPACについて教えてください。

A 昨年9月に3台のパソコンをOPACとして設置しました。なかなかの気分で、いつでも誰かが使用しているという状態です。OPACからは探している図書が、所蔵されているかどうか、そして、貸出されているのかも調べることができます。また大学図書館ともネットワークで繋がっていますので、大学図書館の蔵書も短大から調べることができます。今後の予定としては、さらに3台増設します。その3台には大学で好評の「図書館インフォメーション」が組み込まれますので、蔵書検索のみならず、図書の配架場所、図書館ニュース等も画面上で見ることができます。



OPACは計6台、内1台はタッチパネル

Q 貸出を含めて機械化による問題点や困ったことは生じましたか？

A 予測はしていましたが「図書の予約ができない」と「検索スピードが遅い」という2つの問題が未解決で残っています。「予約」に関しては以前と同じように紙に書いてもらい、館員がパソコンに入力するという方法を採用しています。「検索スピード」に関しては大学図書館でも問題となっており現在業者が調査中です。こうしたソフト上の問題点と運用面での問題がクリアされれば、利用者の皆さんがOPACから図書の予約をかけることができるようになりますし、ストレスを感じることなく検索することができますようになります。

次に図書館側の問題ですが、急激な機械化のため利用者に十分な説明をする時間を取れなかったということがあります。今年度の新入生にはOPACの使い方をガイダンスで説明しましたがまだ十分とはいええないでしょう。「使い方が良く分からない」という問題は解決していかなくてはならないと思っています。

利用者の皆さんに一番注意していただきたいことは利用証(学生証)の紛失です。紛失した場合は学生証再発行の後に、新規のバーコードで再登録します。このように再発行には時間も手間もかかり、なおかつ、その間図書が借りられなくなってしまうので気を付けて下さい。

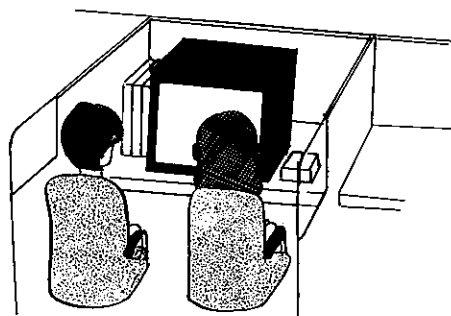
Q 短大図書館の視聴覚サービスである「AVセンターシステム」を教えてください

A 「パソコン制御による」ということがこのシステムの特徴です。地下1階のオートチェンジャーに収納されたビデオ、LD、CD等のAVソフトを利用者の選択に従って、AVセンターで一括処理し、各ブースへ映像・音声を送り出しています。現在、個人視聴のためのAVブースが5台と3名以上によるグループ学習や臨時授業のためのAV視聴室が1室用意されています。また、それとは別にセンターと接続しない再生専用ブースが1台あります。

AVソフトの数は最初にお話しした通り、

約1700タイトルです。そのうち970タイトルは著作権処理されたビデオですので、館内視聴だけでなく、館外貸出もできます。そのため、毎日、多くの学生が借りています。

今年の4月から「クローズド・キャプション・デコーダー」を2台のブースに追加設置しました。キャプション信号の入ったソフトであれば、英語字幕、日本語字幕の内一方を切り替えて表示したり、同時に表示したりすることができます。英語の学習、自分の趣味に是非ご利用下さい。



AVブースは6台、二人で視聴可能

Q それでは、最後に一言お願いします。

A 機械貸出は開始されましたが、短大図書館はまだ第一歩を踏み出したばかりです。まだまだ足りないところもありますが、皆さんの来館を心からお待ちしています。そして、日頃馴染みの薄い大学生の皆さんの来館も大歓迎です。是非、利用お願いします。

図書館をどんどん
利用して下さいね！
職員一同



短期大学図書館の機械化によせて

短期大学生活文化学科教授 日野 一 男

短期大学図書館の機械化に際し、機械操作の
にがてな私は、複雑な操作を必要とするのでは
と敬遠していたが、先般機会があり、検索端末
の操作をご指導いただき、こんな簡単な操作で
よかったのか、といわゆる食わず嫌いを反省し
ている。

機械化される前の図書検索は、目録カード
を一枚一枚チェックすることで必要な図書を探
し出していた。最初の方にめあての図書があれ
ばよいが、終りの方ではそれなりに時間を要す
るために、つい面倒となり書架の間を歩き直接
めあての図書を探すか、職員の方に聞くなどし
職員の方の仕事を中断させてしまったことは、
私以外の方も経験されているのではないだろう
か。

蔵書目録・カード目録で検索していた時は、
あくまでも標題での検索であったが、機械化に
より、たとえば「ファッションの歴史」と言う
図書の検索は、標題での検索以外に、サブタイ
トルやシリーズ名等の途中に「歴史、が入って
いれば機械は拾ってくれるため、おもわぬ図書
に巡り会えるチャンスがある便利さもあるが、
検索者の入力によってはやたら多くの図書が表
示されることもあった。

たとえば、「製造物責任」に関する図書の検
索はさほど冊数が多くないため数秒で検索終
了、一覧表へとなるが（ちなみに源氏物語の様
に500冊ちかいものも同様であった）、製造物責
任は (Product Liability) で通常 P L と略し使
用されるので、P L と入力すると自分が必要と
する図書の何倍も検索される。これは英文略が
P L となるもの（プラトン全集等）を機械が

拾っているからであり、入力者は、P L 法と法
をつけて入力するか (Product Liability) と全
部を入力する方が早く目的とする資料にめぐり
あえる。

いま一つは、「風と共に去りぬ」等は検索の
方法によっては、原書、脚本、訳、A V が総合
的に画面に表示されるので、ついでに A V が見
たいと思った場合でも画面さえながめていれば
必要なデータをもらう事ができる便利さもあっ
た。

図書館フロアへの案内図が入力されていた。

短大では現在稼動していないが、どのジャン
ルがどこの書架にあるかが表示されるシステム
であり、狭い短大は歩いてすぐ目的図書の所
へいけるが、大学の様に広い場所では重宝がら
れると思われた。

図書貸出しも従来はそのつど貸出しカードに
自らが記入していたが、機械化後は、図書と図
書館利用証をカウンターへ提出すればよいだけ
であった。

機械化は検索、貸出し手続き等の簡素化と便
利さを生んだことにより、教職員、学生とも今
後も機械化の整備に正比例するように利用者が
増加していくと思う。現に短大も大学も検索端
末機の前には常に学生が座っていることはこれ
らをものがたっているし、私自身いままでも以
上に図書館を利用させていただこうと思ってい
る。

最後に検索端末操作のご指導や多くの説明を
時間外にもかかわらずして下さった職員の方々
に感謝申し上げます。

全集編纂の中で ―賢治生誕100年によせて―

大学文学部教授 栗原 敦

昨95年5月より刊行を開始した『新校本宮澤賢治全集』も、この3月で第11回の配本を済ませた。91年の秋より編集会議を重ねて来てから5年目、およそ20年前の『校本宮澤賢治全集』の上に立っての仕事とはいえ、草稿を改めて全面的に見直しての再編集だから、毎月刊行というのは大変なハードスケジュールである。5月配本分から隔月のペースとし、12月までには賢治の書き記したものをすべてを終え、年譜・資料編と索引は来年の早いうちの刊行を目指している。

宮沢賢治の誕生は明治29年(1896)8月、今年がちょうど満100年。そのためか、各種の催しも盛んだし、関連図書も多数刊行されているが、今後はこの『新校本宮澤賢治全集』が旧『校本宮澤賢治全集』に代わって賢治作品の根本的なよりどころとなるわけだから、浮ついた騒ぎに惑わされずにと、心して編集の仕事に打ち込んでいく。幸い、今年度は国内研修の機会を与えられた。研修テーマは、そのまま詩人宮沢賢治を含んでいるので、この研修のほとんどを賢治に関わる周辺・同時代資料の調査などに費やしていると言ってもいい位である。

最近ではかなり知られるようになって来たが、賢治の作品は大部分が手書きの草稿のまま残された。しかも、いったんきれいに記したのち、余白を用いて手入れを加え、筆記具を変えて上書きしたり、といったおびただしい書き込みがなされている。もちろん、どんな作家・詩人でも作品を作り上げるまでにはいくたびもの推敲を経るもので、賢治にもそれと同様の側面がないわけではないが、個々の草稿の上に残された書き込みの密度、注ぎ込まれたエネルギーの量たるや、尋常一様のものではない。しかも、逐次的にたどることのできる草稿の推移の中には、前の形から比べて一気に作品が質を高める姿を手にとれるように示しているものもある。まるで

違った別作品が分化してくる現場に立ち会っているような思いにさせられる例もある。テーマや作品世界の相の差を自覚的に変えることを試みたのではないかと思われる組み替えもある。

この最後の例は、詩では「花鳥図譜・七月・」系列の作品などに見られるが、童話の場合ならもっと明瞭だ。最近、天沢退二郎さんは「ヴァージョン」という言葉を用いて説明しようとされているが、これを借りれば、例えば「グスコブドリの伝記」に包摂される一群の作品の場合、「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」は、ナンセンスストーリー系の化け物世界ヴァージョンで、「グスコブドリの伝記」は、捨身奉仕の英雄志望物語ヴァージョン、「グスコブドリの伝記」は共同体の中で時々の技術や科学の限界を生ききった無名の技術者の伝記ヴァージョンといったことになるだろう。

ネネムの伝記にあるナンセンス(実際、私は道を教えるのに足を揃えてびったり「六ノット六チェーン」と言ったり、「及」や「落」に加える「同情及」とか大好きなのだが)は紛れもなく賢治のものだし、一方その一部には、「フクジロ」をめぐる罪の意識の反映・生理的などといったいいような気味悪さの表現も含まれていて、グスコブやグスコブでは捨てられたこれらが両者の背後を裏打ちしているようにも思われる。

晩年の心境の深まりを生むきっかけの一つになった最初の長い病床で、まるで和讃のような「まどろみ過ぐる百年は／醒めての時といづかたぞ」「いまわれやみてわがいのち／いつともしらぬ今日なれば」とも書いた賢治だが、決してそのままこの観照的態度に終わったわけではない。こののちも彼は、さまざまな表現の若々しい《試み》を続けていて、読む者を魅了して離さないのである。



1996年度後期大学図書館ガイダンス 実施予定

大学図書館では前期に引き続き、図書館ガイダンスを行います。各回60～90分程度、定員は10～20名を予定しています。希望の方は、レファレンスカウンターまでお申し込み下さい。日程の詳細については後日掲示しますのでご注意ください。

ガイダンスの内容と実施予定日

目録検索端末の使い方 (10/3, 16)

論理演算処理など複雑な検索方法を紹介します。

データベース、CD-ROMの紹介・使い方
(10/22, 23)

日経テレコン、雑誌記事索引 (CD-ROM)の使い方のほか、外部データベース (国文学資料館データベース、JICT、海外データベースなど) を紹介します。

向田邦子文庫見学 (11/19)

閲覧の方法をはじめ、向田氏の直筆の原稿、シナリオなどを紹介します。

特殊資料室見学 (11/21)

下田歌子資料、本間文庫、黒川文庫、近世文芸資料を紹介します。

論文の探し方と入手方法 (12/3, 4, 5)

卒論などに必要な資料をどのように探し、またどのように入手すればいいのか、実際に目録やデータベースなどを使いながら説明します。

学術情報センター ILL システムの 利用状況報告

大学図書館では、昨年 (1995年) 9月から学術情報センターの ILL システム (以下: ILL) を

使って、他大学図書館との文献複写や図書貸借を行ってきました。(Library Mate 第9号を参照) その後、どのような変化があったのか、現在の状況を報告します。

1. 依頼から到着までの日数

文献複写や相互貸借を依頼した場合、以前は5～10日かかっていましたが、早ければ3～4日で到着するようになりました。

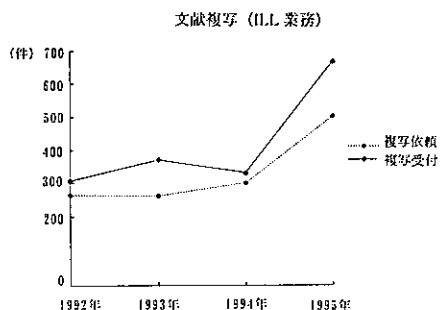
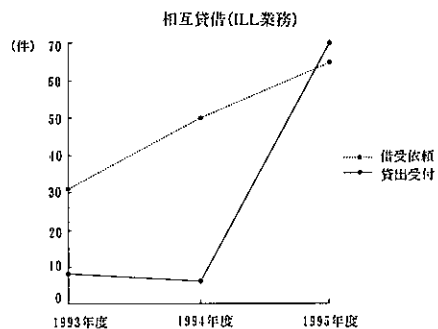
2. 海外への依頼

ILLを通じて、大英図書館にも依頼が出来るようになりました。こちらは、1週間程度で到着します。

3. 受付件数と依頼件数

受付に関しては、文献複写は約2倍 (1994年度:331件→1995年度:667件)、相互貸借 (貸出) は約11倍 (1994年度:6件→1995年度:70件) に増えています。増加の要因は、従来からの文書による申込に、ILLでの、遠方や国立大学からの依頼が増えたことによるものです。

依頼に関してもかなりの増加が見られますが、これはデータベースなどによってより多くの文献のデータを入手できるようになったことなども、関係していると思われます。



Library Mail

— 収書ガイド (大学の巻) —

指定図書コーナー

4月より大学図書館では、「指定図書コーナー」を参考図書コーナーの横に増設いたしました。

「指定図書」とは、講義に関連して学生のみなさんに必読してほしいと、教員から指示のあった図書のことを言います。これらの図書は利用が集中するため、図書館では教員と相談のうえ、複本を揃えたり、利用方法を特別に決めたりしています。(館内閲覧、3日間貸出など)

図書は、学科別・教員別に並んでいます。

- * 館内閲覧・・・図書館内で利用してください。特に手続きはいりません。利用が済んだら元の場所に戻して置いて下さい。
- * 3日間貸出・・・図書の裏表紙に貼付してある、ブックカードに学科・学年・氏名を記入して貸出カウンターで手続きをして下さい。

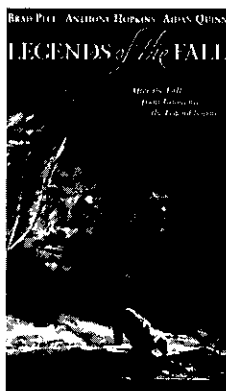
A V資料 (指定図書)

'94年から、英語教材として英文学科の学生むけに、英語字幕付の映画ビデオとその解説図書(スクリーンプレイ、スクリーンイングリッシュ、映画文庫など)をレファレンスカウンター横に指定図書として置いてます。同時に、図書館2階にビデオデッキを4台設置しました。利用は、館内視聴に限りです。受付は、随時行っています。「A V資料」カードに必要事項を記入して、カウンターに申し込んでください。尚、他学科の学生さんも利用できます。



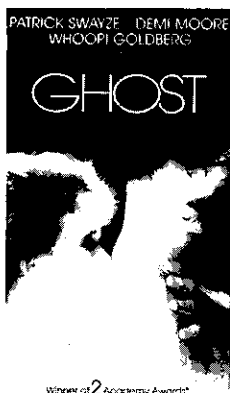
ローマの休日

H778-166
 原 題: Roman Holiday
 1953年作品 (118分)
 主 演: Audrey Hepburn
 テキスト: シネスクリプトブック(1)



レジェンドオブフォール

H778-175
 原 題: Legends of the Fall
 1994年作品 (134分)
 主 演: Brad Pitt
 テキスト: ムービースクリプト(3)



ゴースト

H778-184
 原 題: Ghost
 1990年作品 (127分)
 主 演: Demi Moore
 テキスト: スクリーンプレイ(69)



フォレストガンプ

H778-180
 原 作: Forrest Gump
 1994年作品 (142分)
 主 演: Tom Hanks
 テキスト: 角川スクリプトブックシリーズ (4)

※※※いんふお-め-しょん※※※

1996年7月～11月

大学図書館

開館時間

月～金 9:00～18:00 土 9:00～16:00
試験期 9:00～18:45 (7/1～7/26の月～金)
夏休み期間 9:00～16:00 (7/27～9/21)

休館日

書庫整理日：月末の火曜日
夏休み期間：7/30, 8/8～8/18
8・9月の土曜日

試験期の貸出

7/5(金)～7/24(水) 3日間貸出

夏休み特別貸出

期 間：7/25(木)～9/13(金)
冊 数：大学院生・4年生 10冊
1～3年生・短大生 } 5冊
聴講生 }
返却日：9/27(金)

卒論貸出

対 象：博士論文作成者・修士論文作成者
卒業論文作成者
受付期間：10/1(火)～11/6(水)
文学部、家政学部とも
貸出期間：貸出日から一ヶ月間
冊 数：10冊

*変更等は、掲示でお知らせします。

*指定図書コーナーが新たに増設されました。

編集後記

最近マスメディア等で「変わらなきゃも 変わらな
きゃ」という某自動車メーカーのCMが流れています。
図書館も安達課長補佐が学生課に異動し、就職
課より金田係長がスタッフに加わりました。

さらに、Liburary Mateの編集も石川、伊藤、水野、
八幡に変わり気分も新たに発行して行きたいと考
えています。

ご期待下さい!!

短期大学図書館

開館時間

月～金 9:00～17:30 土 9:00～16:00
試験期 9:00～18:00 (6/3～7/26の月～金)
夏休み期間 9:00～16:00

休館日

書庫整理日：月末の水曜日
夏休み期間：8/8～8/26
8・9月の月・土曜日

試験期の貸出

6/27(木)～7/24(水) 3日間貸出

夏休み特別貸出

期 間：7/25(木)～9/13(金)
冊 数：無制限
返却日：9/26(木)

*雑誌/A V資料については掲示でお知らせし
ます。

A V資料の貸出制限数の変更

6/3(月)より貸出制限数が6点(従来
3点)と変更になりました。

特集—短大図書館「機械貸出」始まる一での写
真撮影に協力して下さった短大の学生さんに、
この場をかりてお礼申し上げます。

“ありがとうございました。”

Liburary Mate 第16号 1996年7月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
発行責任者 三 隅 治 雄